

# 宝塚第一病院ニュース

TAKARAZUKA DAIICHI HOSPITAL NEWS



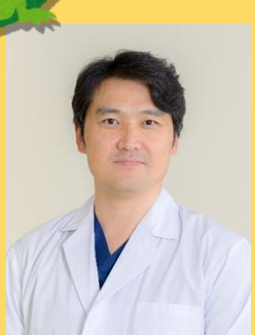
2024 年  
初春号  
1月15日発行



## 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。  
能登半島地震におきましては、被災された皆様には  
謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りしております。

謹賀  
新年



院長 那須 輝

「地域から信頼され、人にやさしい医療の提供を目指して」の理念のもと、地域の皆さまによりよい医療を提供できるよう、今年も努めてまいります。本年もよろしくお願いいたします。



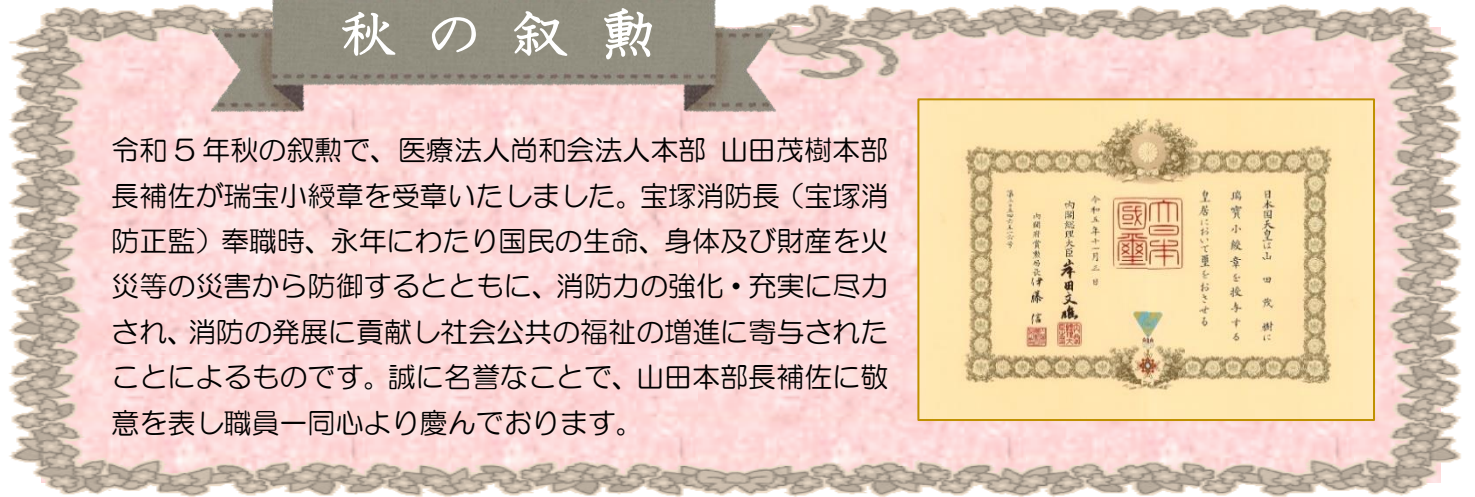
## 地域で取り組む感染対策

### ～新興感染症の発生を想定した実施訓練を行いました～

当院は感染対策向上加算 1 の医療機関として、感染症対策の推進を図る目的で地域の医療機関と年 4 回のカンファレンスを行っています。うち 1 回は新興感染症の発生を想定した実施訓練となります。今年度は宝塚市立病院の感染制御チームと連携して合同訓練を実施しました。前編は宝塚市立病院主催で「新型インフルエンザの発生に伴う机上訓練」、後編は当院主催で「新型インフルエンザ発生時の個人防護具の着脱訓練」を行いました。当日は、宝塚市立病院・こだま病院・宝塚病院・東宝塚さとう病院・宝塚市医師会の診療所（20 施設）・宝塚健康福祉事務所より合計 51 名が参加し、実際につなぎ服を着脱しました。未知の病原体を想定して着用した個人防護具は身体のすべてを覆うため、視界が悪く、身動きがとりづらく、一人では着脱が困難な状態でした。参加されたほとんどの方が初めての経験となり、「貴重な経験ができた」「個人防護具を着用しての業務は大変だと思う」「よほど訓練しておかなければ着脱は厳しい」など、体験してよかったという意見が多くありました。訓練を通じて新興感染症への備えを意識でき、連携も深まったと思います。今後も地域で連携して感染対策が実践できるよう、チームで取り組みたいと考えています。



感染管理特定認定看護師 雪田 智子



令和 5 年秋の叙勲で、医療法人尚和会法人本部 山田茂樹本部長補佐が瑞宝小綬章を受章いたしました。宝塚消防長（宝塚消防正監）奉職時、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するとともに、消防力の強化・充実に尽力され、消防の発展に貢献し社会公共の福祉の増進に寄与されたことによるものです。誠に名誉なことで、山田本部長補佐に敬意を表し職員一同心より慶んでおります。

## 宝塚市秋祭り



10 月の秋祭りでは、  
小浜・川面地区のだんじりが  
当院にもやってきました♪

### Question

放射線って、  
危険ですか？



皆さんこんにちは、放射線科です。

本年度から技師長と副技師長が変わり、新体制になりました。8 年ぶりに新人も加わり、ちょっとだけリフレッシュされた放射線科を紹介します。現在、放射線科医師(非常勤 1 名)、放射線技師(常勤 6 名・非常勤 1 名)、事務(非常勤 1 名)で業務を行っています。放射線科医による読影は毎週金曜日を基本に実施し、読影依頼件数に応じては、週末に追加で行うこともあります。撮影業務は整形外科の依頼件数が多いですが、院内すべての診療科に関わり、関連施設へも撮影に出向いています。

「放射線って心配。」体に対する放射線の影響は目に見えないもので、

心配される方も多いかもしれません。お薬と同じで、必要のないときに CT などの検査を受けることは良いとは考えられませんが、病気や怪我の際に適切な検査を受ける場合は、メリットとデメリットを比較して総合的に安全と判断して良いのではないかと思います。放射線に対する疑問や不安があれば、いつでも放射線科スタッフまでご相談ください！また、今月は MRI の更新工事を行っています。最新トレンドの AI を使った画像処理で、早く精巧な画像が撮れるようになる予定です。2 月には完成しますので、ぜひ見に来てください。

放射線科技師長 上田 高弘

